

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

## センターだより 第115号(通巻第182号)

---

2013年2月27日 発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

### ■山梨大学教育人間科学部第25回教育フォーラム開催予定

下記のとおり、今年度の教育フォーラムを開催いたします。

講演会では、病気や怪我で入院中の子どもたちのために病院で授業を行う「院内学級」の教師・副島賢和先生を迎え、病気と闘う子どもたちとのエピソードを交えた講演をお聞きします。副島先生は、院内学級の先生として、NHK「プロフェッショナル：仕事の流儀」に「涙も笑いも力になる：小学校教師副島賢和」として取り上げられた先生です。ドラマ「アカハナの先生」も、彼が素材となっています。多くの方にご来場いただきますようよろしくお願いいたします。

日 時 平成25年3月17日(日)午後(時間は未定)

場 所 山梨大学教育人間科学部J号館A会議室(予定)

講演会 講師 副島賢和(東京都品川区立清水台小学校・昭和大学病院内さいかち学級教諭)

演 題 「こころの声が言葉になる～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと」

### ■第82回国立大学教育実践研究関連センター協議会のご報告

標記協議会が、2月19日(火)に東京学芸大学において開催され、山梨大学からは時友裕紀子センター長が出席しました。総会では、協議会会長下村勉先生(三重大学)の開会挨拶の後、来賓挨拶として文部科学省高等教育局大学振興課 鍋島 豊教員養成企画室長から「教員養成の改革について～大学における教育委員会との連携・協働～」について説明がありました。総会議事・報告では、部門報告、2012年度会計中間報告及び2013年度会計予算、2013年度事業が協議、承認されました。2013年度の会長は引き続き下村先生がお引き受けくださり、他の役員は規約通り会長一任が了承されました。その後出席した各センターから状況報告がなされました。

次回は2013年9月20日、秋田大学構内にて開催されます。毎年行われている講演会の代わりとして、模擬授業室での授業(附属小学校児童対象)の授業参観が計画されています。

## ■第4回連携・教育研究会（総合教育センター研究発表大会）のご報告

総合教育センター研究発表大会が、山梨県総合教育センターで1月23日（水）に開催されました。この大会は、第4回連携・教育研究会を兼ねています。参加者は約500名でした。大学側からは、来賓として、中村享史教育人間科学部長と時友裕紀子教育実践センター長、指導・助言者として、国語教育講座の岩永正史教授、英語教育講座の田中武夫准教授、障害児教育講座の鳥海順子教授、実践センターの蘆原桂教授、川村直廣客員教授、谷口明子教授、成田雅博准教授、早川健准教授の10名が参加いたしました。

研究大会は、午前中に開会式、特別講演、基調提案、午後は各グループの提案・協議が分科会形式で進められました。全体研究テーマは「学校教育を支援する実践的な研究」でした。

特別講演会は、「命を守る主体的姿勢を育む防災教育～釜石市津波防災教育に学ぶ～」をテーマに、東日本大震災の津波から多くの小中学生が生き延びた「釜石の奇跡」を生み出した群馬大学教授片田敏孝先生による講演でした。釜石市の津波防災の様子を映像と写真で解説しながら、災害の恐ろしさのみを伝える防災教育から、想定外を生き抜く力を育む防災教育への変換を訴えられました。「想定にとられるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」のキーワードを避難3原則として、子どもたちに心の底から“逃げたい”と思う気持ちを育むアドバイスや指導の必要性を強調されました。また、津波被害がない本県では、地質上の特徴から台風等がもたらす洪水や土石流による豪雨災害の危険に備える必要があることをお話いただきました。

午後の主事研究の発表は、「教育課題研究グループ」「教育相談グループ」「特別支援教育グループ」「情報教育グループ」「教育課程実施状況調査グループ」「一般留学生研究」の研究グループに分かれ、それぞれの分科会で研究発表が行われました。教育課題研究グループは、防災教育、理数教育、言語活動に分かれて行われました。理数教育研究グループでは、県内の児童・生徒・教師への実態調査結果と今後の理数教育の充実にむけた研究発表がなされました。また、教育の情報化グループでは、小学校におけるICTの効果的な活用や校務の情報化についての発表が行われました。その他のグループの発表も現在の教育課題に焦点を当て、その問題解決に迫るすばらしいものでした。

## ■「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（L-428）をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては、事前に教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。鍵については事務室にお尋ねください。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

---

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見るができます。